

第13回 理事会議事録

開催日時 平成15年7月17日 13時30分～16時30分

開催場所 品川第一区民集会所

出席者 理事―柏木 寛、村瀬 禎男、古川 弘康、新家 彦司、黒山 昭宣
(理事総数6名中5名出席)

監事―小泉 鐵夫

開会(13時30分)

1、出席者及び議事録署名人の確認

出席者は上記通り。議事録署名人に黒山、新家両理事を指名した。

2、第12回理事会議事録の確認

内容再確認の上異議無く承認された。

3、理事長挨拶

最近読んだ本から感ずる所

「消費社会の神話と構造」

現在は工業化社会に続く消費社会と一般に称せられているが、注意すべきはその実態が一般人の知らぬ中で相当加工された消費社会であること。

「大失敗」

一時は優良企業と言われ一世を風靡した大会社でありながら、過去の成功を忘れたり戦略を間違え凋落する大会社の例が多い。(ATT、GE、XROX等)

SEFに対する教訓

(1) SEFが対象とする社会・業界・個別会社の評価を誤らないように。相手の本質を見抜くことが大切。

(2) SEFのブランドがどの領域で評価されているのか忘れないように。

4、審議事項

(1) 今後の事業展開について

総会も終え実質新年度に入り、この段階で今後の事業展開に関して討議し以下の合意を得た。

a、着手の遅れている事業1「中小企業への経営支援」事業2「工場改善支援」に関しては、当面事業分野を「化学」「食品」「環境」「電機・電子」「情報通信」に重点化する。

又、営業面においては銀行筋の情報源(信用金庫、第二地銀等地域密着型を含め)を

活用すべく手段を講じる。

- b、理事のみでなく正会員全員にも事業参画の意識を高めるべく画策する。

当面各正会員にも具体的なテーマを割当てる手筈を打つ。又各人の資格・得意分野の整理登録を図る。

- c、営業活動の活発化の前提として交通費の支給を下記のようにすることを合意。

支給原則 1、理事—交通費実費支給。但し月額上限 1 万円。

年度予算通り—財源は共通費

2、会員—理事の監督下で交通費実費支給。

財源は事業収入に付き原則事後清算。

何れも支給は下期よりとする。詳細は今後詰める。

(2) 会員の件

- a、正会員本田稔氏より 7 月 7 日付けで退会届が理事長宛提出され、事情止む無しとして本理事会にて退会を確認した。

- b、新規会員登録の候補者 2 名（石田氏、松田氏）を上げ勧誘努力することとした。

5、報告事項

(1) 事業計画取進め状況

①環境関係事業（新家理事担当）

月島機械の環境設備 DR（デザインレビュー）の 5 月分入金あり。

引き続き第 2 回コージェネ設備の DR を 7 月下旬乃至 8 月上旬実施の申し出あり。前回同様松田修氏で対応予定。

② J I C A への協力（村瀬副理事長担当）

尾股氏と協力し J I C A 窓口小野さんとコンタクトを続けている。春季募集テーマの分析より S E F で対応可能テーマリスト作成。

秋の募集に向け先ずは派遣者の審査員をねらうのが良いとの意見が出された。

(2) 諸手続き成行報告（事務局）

総会決議事項に基づき平成 1 4 年度実績報告を都庁、法務局に提出。一部追加資料を含め手続完了。前川行政書士に依頼した。

(3) ちよだ N P O ネット設立総会（事務局）

6 月 2 1 日開催の設立総会に事務局が出席。

参加 4 0 団体。今後様子を見ながら利用して行く。

(4) ホームページの件（村瀬副理事長）

開設努力中。S E F のロゴを提案する。

6, その他

(1) 次回理事会

8月には理事会は休会。次回は9月開催。

(2) 会員連絡会の開催

会員の参画意識を高めることを主目的に3ヶ月毎を目途に会員連絡会を開催する。

第1回会員連絡会

開催日時 8月22日(金) 13時30分～16時30分

当日引き続き夕刻に会員サロン開催

閉会(16時30分)

上記議事の経過と要旨を明確にする為に議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名捺印する。

平成15年7月17日

シニアエキスパートフォーラム 第13回理事会

議長

印

署名人

印

署名人

印